オプティメイト7セレクトV2のサービスモード使用方法

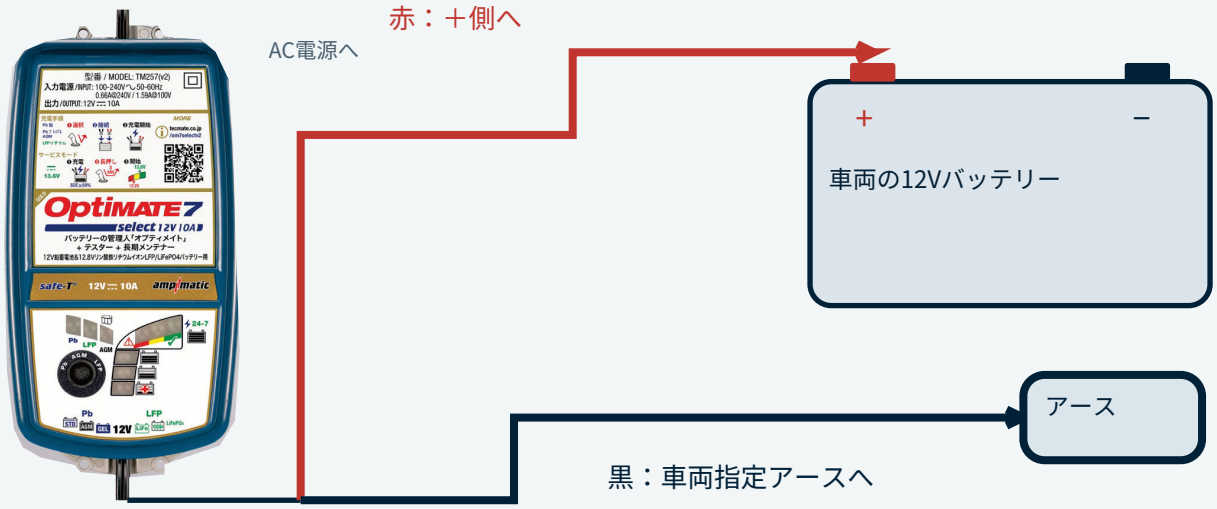
図解取扱ガイド / 車両診断・電源サポート・交換時のメモリー保持

13.6V	最大9A	3秒長押し
供給電圧の目標	サービスモード時	開始・通常充電へ復帰

エンジンを停止した車両に電力を補い、作業中の電圧低下を抑えます。先にバッテリーを接続し、通常充電のSTEP 6以降へ進んでから切り替えます。

1 接続する場所を確認する

基本接続図 / マイナス接地の12V車両



赤（＋）を先に、黒（−）を後に接続

接続先は車両取扱説明書の指定を優先します。エンジンルームの救援用＋端子を利用できる車両もありますが、位置・使用可否は車種ごとに確認してください。

作業前の準備

エンジン／READYはOFF。照明・空調・オーディオ等を停止し、換気を確保。火気を避け、ケーブルを可動部や高温部に近づけないでください。

サービスモードを開始する

モード選択 → バッテリー接続 → 通常充電を確認 → 3秒長押し

2 バッテリーに合う充電モードを選ぶ

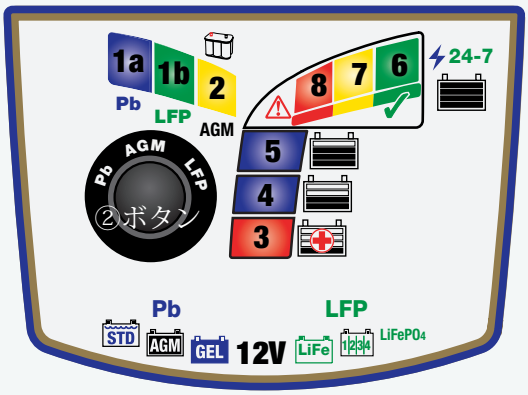
AC電源を入れ、車両・バッテリーに未接続の状態でボタンを短く押して選択します。設定は電源を切った後も記憶されます。

Pb	14.4V	一般的な12V鉛電池（通常のAGMを含む）
AGM	14.7V	14.7V充電を指定する一部の高電圧充電用AGM等
LFP	14.3V	12.8V／13.2Vのリン酸鉄リチウム電池

※「AGMだから必ず14.7V」ではありません。バッテリーメーカーの指定を確認してください。

3 STEP 6以降になったら、ボタンを3秒長押し

メーカー取扱説明書のパネル図



出典：メーカー取扱説明書 2頁

① 開始できる状態を確認

青色LED #4の通常充電（STEP 6）以降で操作します。回復充電中は開始できません。

② ボタンを3秒間押し続ける

選択中モードのLEDがゆっくり点滅し、LED #6・#7・#8が同時に点灯することを確認します。

③ 表示を確認して作業開始

負荷の増加に応じて点灯の組み合わせが変わります（4ページ）。

開始できない場合

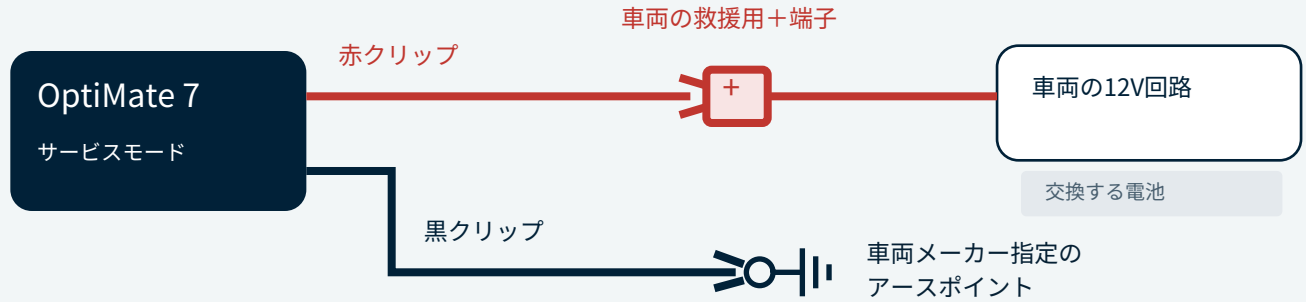
LED #3の回復充電中は、通常充電への移行を待ちます。LED #8（赤）が点滅している場合は、接続やバッテリーの異常を確認してください。

バッテリー交換時の接続先

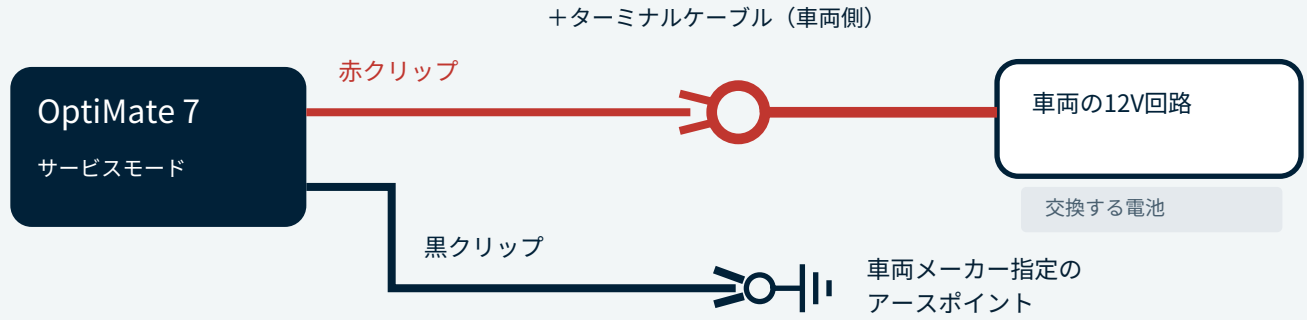
赤（＋）は下記A・Bのいずれか、黒（−）は車両メーカー指定のアースポイントへ。

> **交換中も「車両側」への接続を維持する**
>
> バッテリーを外す前に接続し、サービスモードを開始します。車両メーカーがバックアップ給電を認める接続点を使用してください。

A 車両の救援用＋端子へ接続



B ＋ターミナルケーブル（車両側）へ接続



Bは、＋ターミナルケーブルの車両側金属部へ、バッテリーを外す前に確実に接続します。電池の＋極柱を挟むと、電池を外した際に車両への給電が途切れます。

交換の順番

① 接続・モード確認 → ② 旧電池の − → ＋ を外す → ③ 新電池の ＋ → − を接続

④ 接続を点検 → ⑤ ACプラグを抜く → ⑥ 黒クリップ → 赤クリップの順で外す

作業中は＋側ケーブルも通電しています。クリップを外さず、露出金属部を絶縁・固定して短絡を防止。エンジン始動／READY化は、充電器を外してから行います。

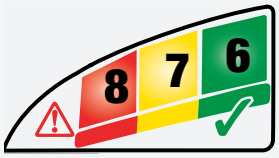
端子の固定、電流センサー、排気ホース、交換後の登録・初期化は車両整備要領書に従ってください。

表示の見方と、終了の手順

サービスモード中のLEDは、通常充電時の診断表示と意味が異なります。

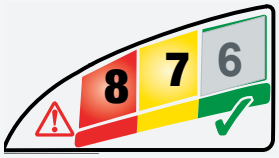
4 LED #6・#7・#8で、供給状態を確認

LED窓：色付き＝点灯 ／ グレー＝消灯 ※メーカー原図を切り抜き、点灯状態を表示



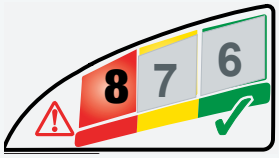
#6・#7・#8が同時点灯

13.6Vを維持できている状態。



#7・#8が点灯

最大出力でも13.6Vを維持できず、電圧が低下。負荷を減らします。



#8のみ点灯

12.8Vを下回る状態。作業を中断し、負荷と電源供給を確認します。

電圧が12.8Vを下回ると再充電へ移行し、選択した充電電圧まで上昇した後にサービスモードへ戻る場合があります。常時13.6Vだけを出す電源として扱わないでください。

5 終了する

通常充電へ戻す	ボタンを再び3秒長押しします。
車両から取り外す	車両負荷を停止 → ACプラグを抜く → 黒 → 赤の順に外します。

> **最大出力を超える作業には使用しない**
>
> サービスモードは最大9Aです。ECU更新等は車両メーカー指定の電圧・電流条件を満たす場合に限ります。OBDII経由で9Aを供給しないでください。

参考資料・本書の位置付け

接続図・説明文を独自に構成した補助ガイドです。パネル図はメーカー取扱説明書から掲載。製品付属取扱説明書・車両整備要領書を優先してください。図は接続原理を示し、特定車種の端子位置や適合を保証するものではありません。